

播磨国安黒村文書(1)概要

1:文書群番号	092020
2:文書群名	播磨国安黒村文書(1)
3:出所	猪尾家
4:家業・役職等	近世：庄屋
5:地名	播磨国宍粟郡安黒村／兵庫国宍粟郡安黒村／宍粟郡神戸村安黒／宍粟郡一宮町安黒／宍粟市一宮町安黒
6:行政区分	山崎藩領／幕府領／尼崎藩領／飾磨県／神戸村／一宮町／宍粟市
7:歴史	<p>安黒村は江戸期～明治22年(1889)までの村名。もと播磨国宍粟郡神戸村の一部。寛永19年(1642)山崎藩主松平康映の時に神戸村は須行名村を分村し、さらに寛文9年(1669)神戸村は伊和村と安黒村に分かれた。明和6年(1769)以降尼崎藩の飛び地領となった。明治22年ふたたび神戸村の大字となった。昭和31年(1956)以降は一宮町の大宇。</p> <p>猪尾家については未詳である。</p>
8:伝来	<p>出所の猪尾家の所蔵を離れた当文書群を永井久美男氏が研究のため古書籍商より購入。平成6年(1994)10月、永井氏より史料館へ寄贈された。</p>
9:史料入手先	永井久美男氏()
10:点数	14点(目録件数14件)
11:年代	正徳6年(1716)～嘉永3年(1850)
12:構造と内容	<p>本文書群は安黒村の村文書である。史料には尼崎藩飛び地領を管轄する上郡役所役人の裏書きのある「年貢米銀皆済目録」、安永2年「村方所持の山論裁許証文等全て提出せし旨請書(写し)」など尼崎藩飛び地領の村の様子をうかがえるものが多い。</p>
13:関連史料	播磨国安黒村文書(2)
14:閲覧条件	原本
15:作成者	中村由佳